

「医師としての夢と志を育もう」

久留米大学眼科学講座 吉田茂生

この度久留米大学附設高校卒業以来 32 年ぶりに久留米大学で働く機会を頂いた吉田茂生です。高校・大学を通してラグビー部に所属し「One for All, All for One」のチームプレーの精神を学びました。共に汗した仲間とのつながりは今でも大切な財産となっています。眼科医となつてからは、新たな手術補助剤の開発に参画し、外科的疾患の手術治療成績向上に取り組みました。同時に臨床の現場で生じる疑問点を基礎医学的な手法で解決し、臨床に還元する問題解決型の研究も行ってきました。この間アメリカにも留学し、海外の質の高い学問に触れ、また歴史や習慣の違った人々のなかで協調して仕事を行う貴重な体験もしました。

本学の教育目標は、基本理念「国手の理想は常に仁なり」のもと「時代や社会の多様なニーズに対応できる実践的でヒューマニズムに富む医師を育成するとともに、高水準の医療や最先端の研究を推進する人材を育成する」ことです。私は素晴らしい教育目標だと思います。まず医師として患者の立場で考えることのできるいたわりの心や社会的礼節を身につけましょう。医療が複雑化している現在、メディカルスタッフや職員の方々との協調も必要不可欠です。また、医師は同時に教育(共育)者であることを認識してください。人は教えることによって、最もよく学ぶことができます。「教えあい、高めあう」雰囲気大切に、チーム全体で成長しましょう。

これらを踏まえて、教科書や論文を読み、先輩の話に耳を傾けて勉強しましょう。久留米大学病院では十分な設備が整っており、世界最高水準の診療と治療が行えます。しかしすぐに、現時点で最善の治療を行っても、まだ十分に治せない病気が少なくないことに気づくでしょう。若い先生達には既存の治療手技を教科書通りにこなすだけで終わってほしくありません。幸い久留米大学病院は地政学的に多くの患者様が集まる「症例の宝庫」です。経験した 1 例 1 例を丁寧に振り返り、まとめてみましょう。今までの教科書や論文に記載のない結果がでてきたらしめたものです。今まで世界中の先輩が残してきた医学的知見に小さくてもきらりと光るものを追加していきましょう。

医師ならば誰しも、「この病気を今よりもっとよりよく治したい」という夢を持つ事があるでしょう。若い先生方にはぜひこれを夢で終わらせず、何とか実現しようという強い意志、すなわち「志」へと発展させてほしいと思います。久留米大学にはその志を実現するのに十分な環境があります。これにより医師としての生涯学習がとても有意義で楽しいものとなるでしょう。

今、サッカーワールドカップが開催中です。テレビにアップされた選手達の試合前の緊張した顔と瞳がとても印象的です。これまで夢の実現に向けて懸命に培ってきた技と力をこの一戦に集中的に発揮しようとする若者の顔、ゴールに向かって勇敢に挑む姿はとてもさわやかで得も言われぬ美しさを感じます。医学生のみなさん、大いに青春を謳歌してください。